# 条件付き確率と乗法定理

高校数学 A『確率』

SAKAI SHO / 酒井 彰

鹿児島大学 / 理学部

January 1, 2023

# 目次

1 条件付き確率

2 乗法定理

3 演習問題

# 目次

1 条件付き確率

2 乗法定理

3 演習問題

### 条件付き確率の定義

全事象を U とする。2 つの事象 A,B について,条件付き確率  $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{1}$$

と表される。(ただし, $P(A) \neq 0$ )

### 条件付き確率の定義

全事象を U とする。2 つの事象 A, B について,条件付き確率  $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{2}$$

と表される。(ただし、 $P(A) \neq 0$ )

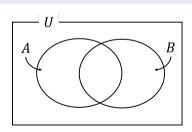


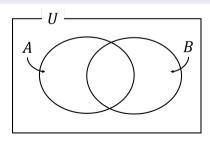
Figure: ベン図 (事象の関係)

### 条件付き確率の定義

全事象をUとする。2 つの事象A,B について,条件付き確率 $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{3}$$

と表される。(ただし、 $P(A) \neq 0$ )



#### memo

 $\frac{n(A \cap B)}{n(A)}$ 

 $n(A\cap B)$ : 事象  $A\cap B$  の起こる場合の数

n(A): 事象 A の起こる場合の数

### 条件付き確率の定義

全事象を U とする。2 つの事象 A, B について,条件付き確率  $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{4}$$

と表される。(ただし, $P(A) \neq 0$ )

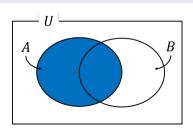


Figure: 条件付き確率のベン図(事象の関係)

### 条件付き確率の定義

全事象を U とする。2 つの事象 A,B について,条件付き確率  $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{5}$$

と表される。(ただし, $P(A) \neq 0$ )

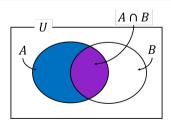


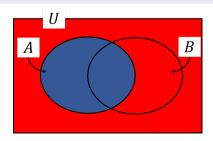
Figure: 条件付き確率のベン図(事象の関係)

### 条件付き確率の定義

全事象をUとする。2 つの事象A,B について,条件付き確率 $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{6}$$

と表される。(ただし, $P(A) \neq 0$ )



#### memo

$$P(A) = \frac{P(A)}{1} = \frac{P(A \cap U)}{P(U)}$$

# 目次

1 条件付き確率

2 乗法定理

③ 演習問題

# 乗法定理

### 乗法定理

2 つの事象 A, B がともに起こる確率  $P(A \cap B)$  は

$$P(A \cap B) = P(A) \cdot P_A(B)$$

と表される。(ただし, $P(A) \neq 0$ )

(7)

# 目次

1 条件付き確率

2 乗法定理

3 演習問題

#### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 問われていること

#### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 問われていること

検査で陽性となった人が実際に患者である確率は?

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 問われていること

検査で陽性となった人が実際に患者である確率は?

#### 言葉の説明

患者: 感染症に感染している人

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 問われていること

検査で陽性となった人が実際に患者である確率は?

#### 言葉の説明

患者: 感染症に感染している人

検査で陽性が出る:一定の確率で感染症に感染していると確認できる。

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

### 「事象」の候補

hint 問題文中にある確率

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 「事象」の候補

#### hint 問題文中にある確率

- ・患者のうち陽性反応を示す確率は98%
- ・患者でない者が陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- 検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

### 「事象」の候補

#### hint 問題文中にある確率

- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率
- ベン図を思い出す(何を事象として $U, A, B, \dots$ とおけば求めたい確率を求められるのか)

#### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

#### 「事象」の候補

・検査対象者である。

#### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

- ・検査対象者である。
- ・患者である。

#### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

- ・検査対象者である。
- ・患者である。
- ・検査で陽性反応がでる。

### 問

ある感染症の検査について,患者のうち 98% が陽性反応を示し,患者でない者が陽性反応を示す確率は 3% であるとする。また,検査対象者のうち,患者である確率は 0.1% であるとする。このとき,検査を受けて陽性となった人が実際に患者である確率を求めよ。

- 検査対象者である。
- ・患者である。
- ・検査で陽性反応がでる。 (否定等を考えれば他にも考えること「は」出来る。)

- ・検査対象者である。
- 患者である。
- ・検査で陽性反応がでる。

### 事象

- ・検査対象者である。
- ・患者である。
- ・検査で陽性反応がでる。

これらに事象としての記号 (U,A,B) を与えて、ベン図にまとめると

### 事象

- ・(*U*) 検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・(B)検査で陽性反応がでる。

これらに事象としての記号 (U, A, B) を与えて、ベン図にまとめると

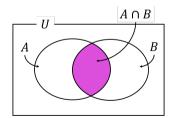


Figure: ベン図 (事象の関係)

### 事象

- ・(U) 検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・(B) 検査で陽性反応がでる。

#### 問われていること

検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率は?

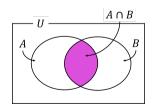


Figure: ベン図(事象の関係)

### 事象

- ・(U) 検査対象者である。
- •(A) 患者である。
- ・(B) 検査で陽性反応がでる。

#### 問われていること

検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率は $?=P_B(A)$ 

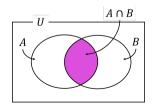


Figure: ベン図(事象の関係)

求める値

 $P_B(A)$ 

### 条件付き確率の定義

全事象を U とする。2 つの事象 A,B について,条件付き確率  $P_A(B)$  は

$$P_A(B) = \frac{P(A \cap B)}{P(A)} \tag{8}$$

と表される。(ただし、 $P(A) \neq 0$ )

条件付き確率の定義より、

$$P_B(A) = \frac{P(B \cap A)}{P(B)} = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} \tag{9}$$

#### 事象

- •(U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・(B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

### 求める値

 $\frac{P(A \cap B)}{P(B)}$ 

### 求める値

$$P(A \cap B) = ??$$

$$P(B) = ??$$

#### 求める値

 $P(A \cap B)$ 

### 事象

- ・(U) 検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

## 求める値

 $P(A \cap B)$ 

#### 乗法定理

2 つの事象 A, B がともに起こる確率  $P(A \cap B)$  は

$$P(A \cap B) = P(A) \cdot P_A(B) \tag{10}$$

と表される。(ただし、 $P(A) \neq 0$ )

乗法定理より

$$P(A \cap B) = P(A) \cdot P_A(B) \tag{11}$$

#### 事象

- ・(*U*) 検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・(B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P(A) \cdot P_A(B)$$

#### 事象

- ・(*U*) 検査対象者である。
- •(A) 患者である。
- ・(B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- 検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P(A) \cdot P_A(B) = (0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})$$

- (U) 検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
  - ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
  - ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- 検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

#### 求める値

$$P(A) \cdot P_A(B) = (0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})$$

実際,言葉で書くと

P(A): (検査対象者のうち) 患者である確率

P<sub>A</sub>(B): 患者である者のうち,検査で陽性反応が出る確率

$$P(A \cap B) = \underbrace{(0.1 \cdot \frac{1}{100})}_{P(B)} \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})$$

$$P(B) = ??$$

求める値

P(B)

### 以下の等式を認める $(\overline{A}:A$ の余事象)

$$P(B) = P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$
(12)

### 以下の等式を認める $(\overline{A}:A$ の余事象)

$$P(B) = P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$
(13)

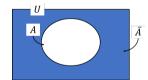


Figure: ベン図 (事象の関係)

#### 以下の等式を認める $(\overline{A}:A$ の余事象)

$$P(B) = P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$
(14)

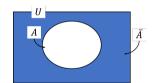


Figure: ベン図 (事象の関係)

A は「患者である」という事象であった。 つまり、 $\overline{A}$  は

#### 以下の等式を認める $(\overline{A}:A$ の余事象)

$$P(B) = P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$
(15)

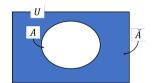


Figure: ベン図 (事象の関係)

A は「患者である」という事象であった。 つまり、 $\overline{A}$  は「患者ではない」という事象のこと。

$$P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$

#### 求める値

$$P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})$$

#### 確率の性質

全事象を U とする。事象 A の確率を P(A) とすると,事象 A の余事象  $\overline{A}$  の確率  $P(\overline{A})$  は

$$P(\overline{A}) = P(U) - P(A) = 1 - P(A) \tag{16}$$

と求まる。

- $P(\overline{A})$  を求めたい。
- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

#### 確率の性質

全事象をUとする。事象Aの確率をP(A)とすると,事象Aの余事象 $\overline{A}$ の確率 $P(\overline{A})$ は

$$P(\overline{A}) = P(U) - P(A) = 1 - P(A) \tag{17}$$

と求まる。

#### 求める値

$$P(\overline{A})$$

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%

#### 確率の性質

全事象を U とする。事象 A の確率を P(A) とすると,事象 A の余事象  $\overline{A}$  の確率  $P(\overline{A})$  は

$$P(\overline{A}) = P(U) - P(A) = 1 - P(A) \tag{18}$$

と求まる。

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%

#### 確率の性質

全事象をUとする。事象Aの確率をP(A)とすると,事象Aの余事象 $\overline{A}$ の確率 $P(\overline{A})$ は

$$P(\overline{A}) = P(U) - P(A) = 1 - P(A) \tag{19}$$

と求まる。

これより,

$$P(\overline{A}) = 1 - P(A) \tag{20}$$

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%

#### 確率の性質

全事象をUとする。事象Aの確率をP(A)とすると,事象Aの余事象 $\overline{A}$ の確率 $P(\overline{A})$ は

$$P(\overline{A}) = P(U) - P(A) = 1 - P(A) \tag{21}$$

と求まる。

これより,

$$P(\overline{A}) = 1 - P(A) = 1 - 0.1 \cdot \frac{1}{100} = 99.9 \cdot \frac{1}{100}$$
 (22)

$$P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} \tag{23}$$

$$P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} \tag{24}$$

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})}$$
(25)

$$P_B(A) = \frac{P(A \cap B)}{P(B)} \tag{26}$$

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot P(\overline{A})}$$
(27)

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(28)

$$P_A(B), P(A), P_{\overline{A}}(B)$$

$$P_B(A) = \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(29)

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- 検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P_B(A) = \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{P_A(B) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(30)

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(31)

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P_B(A) = \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot P(A) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (0.1 \cdot \frac{1}{100}) + P_{\overline{A}}(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(32)

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち、陽性反応を示す確率は98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P_B(A) = \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (0.1 \cdot \frac{1}{100}) + P_A(B) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$

$$= \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (0.1 \cdot \frac{1}{100}) + (3 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$
(34)

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は 0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

= 0.03166397

$$P_B(A) = \frac{(0.1 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (98 \cdot \frac{1}{100})}{(98 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (0.1 \cdot \frac{1}{100}) + (3 \cdot \frac{1}{100}) \cdot (99.9 \cdot \frac{1}{100})}$$

$$= \frac{0.1 \cdot 98}{98 \cdot 0.1 \cdot 3 \cdot 99.9}$$
(36)

(38)

- (U)検査対象者である。
- (A) 患者である。
- (B) 検査で陽性反応がでる。
- ・患者のうち,陽性反応を示す確率は 98%
- ・患者でない者のうち、陽性反応を示す確率は3%
- ・検査対象者のうち、患者である確率は0.1%
- ・検査を受けて陽性となった者のうち、患者である確率

$$P_B(A) = 0.03166397 (39)$$

よって 3.17%.

# 目次

1 条件付き確率

2 乗法定理

3 演習問題